

平成 28 年度

奈良市立看護専門学校 入学試験問題

国 語

試験時間 50 分（問題 1～19）

**注意事項**

1. 試験開始の指示があるまで問題を開いてはいけません。
2. 机には、受験票、筆記用具、時計以外のものを出してはいけません。
3. 係員の指示に従って、下欄及び解答用紙に受験番号と氏名を記入し、解答用紙の受験番号欄をマークしてください。
4. 解答方法：選択肢(1～5)から**正解を一つ選び**、解答用紙の解答欄の該当番号をマークしてください。2つ以上マークした場合には誤りとなります。
5. マークは解答用紙の「マークの方法」の「良い例」のように濃く、はっきりと塗りつぶしてください。「悪い例」では採点されない場合があります。
6. 試験中に問題の印刷不鮮明等に気付いた場合は、手を挙げて係員に知らせてください。なお、問題の内容に関する質問にはお答えできません。
7. 問題の余白はメモ等に使用して構いません。
8. この問題冊子は回収します。持ち帰らないでください。

受験番号

--	--	--

氏 名

--

第1問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

純日本的な美しさの最も高いものは庭である。庭にはその知恵をうずめ、教養を<sup>かく</sup>匿して上に土を置いて誰にもわからぬようにしている。遠州や夢窓国師<sup>(注1)</sup>などは庭の学者であった。そうでない名もない庭作りの市井人<sup>(注2)</sup>が刻苦して作ったような庭に、匿された教養がある。

Ⓐ

庭をつくるような人は陶器とか織物とか絵画とか彫刻とかは勿論、料理や木地やお茶や香道のあらゆるつながりが、実にその<sup>ぬけみち</sup>抜路に待ちかまえていることに、注意せずにいられない。

(ア) 精神的にもそうだが、あらゆる人間の感覚するところの高さ、品の好き、匂いの深さにまで達する心の用意があることになる。人物ができていなければ庭の中にはいつてゆけない、すくなくとも庭を手玉にとり、掌中に円めてみるような余裕が生じるまでは、<sup>(イ)</sup> 人間として学ぶべきもののすべてを学んだ後でなければならぬような気がする。鉄のような精神的な健康もいるし、一茎の花にも心惹かれる柔かい詩人のたゆたいが要り、十人で引く石も、指一本で動かす最後の仕上げにも、徹底的な勝利をも目ざしてその仕事につかねばならぬ。はいり込んで行けば生やさしいことは一つとして存在していない。この世界では、もうよかろうという言葉や、いい加減にしておこうということは、忌み嫌われる。進んだら退くことを知らぬ。庭作りの最後は財を滅ぼし市井の<sup>ろうきよ</sup>陋居<sup>(注3)</sup>に閉息するものが多い。Ⓑ

庭を見るということもその日の時間がたいせつであって、朝早く見て美しい庭もあろうし、午後の斜陽の射すところに栄える庭もあろうから、その庭の主人にいつごろがいいかということ打合せする必要がある。いきなり訪ねて庭を見せてくれということは無躰であって、読書している机のそばにいきなり訪ねて坐り込むようなものである。たいていの庭は午前なら十時ごろまでは日の射し方もななめにはしているから、直射する午後一時から三時ごろを避ければ、夕方はどういう庭でも美しいという理由で、この二つの時間に庭を見ることで間違いはなく、無礼でないかも知れない。

夕方も大して暗くならない日没前一時間くらいなら、春夏秋冬を通じてまず夕暮の庭を見ることで、時間的に効果が多い。Ⓒ

その日没後すっかり暗くなるまでの庭を見、庭が夜の中に沈み込むのを見おさめることは、庭というものの精神を見てやるようなものである。しかしそれはその庭の主人がいつも見ているだけで、他人が見られない奥の深いところかも知れぬ。庭が夜の中に、襟を正して身づくろいしながら<sup>しよね</sup>襦にはいるときは、その庭にあるものが一さいに融けあう美しい瞬間である。花も石も、木の幹も、<sup>(ウ)</sup> みなそれぞれに見る人の心につながって来る。見る人に物思いがあり人のことを考えているなら花も、木、石も物思いの美しさを加え、殖やしてくれる。建築、造園、教養、叡智、学問、そんなものに思いをひそめている人がいたらその人は庭をみながら柔かく教養、叡智の捌け口を、手つだってくれることに気づく。滝田<sup>ちいひん</sup>栲蔭氏<sup>(注4)</sup>は脇息にもたれ庭を見ながら雑誌に書いて貰う小説家や評論家を頭でえらんでいたそうであるが、滝田氏でなくとも<sup>(エ)</sup> 建築家や事業を目ざす人びとが、その仕事を庭を見ながら組立てることもあるだろう。Ⓓ

私は最近庭には木も石もいらないような気がし出した。垣根だけあればいい、垣根だけを見て、あとは土、あるいは飛石を見るか、苔を見るようにして木というものはできるだけ少なくまた石もできるだけ少なくしたいと考えるようになった。(オ)、庭で最初に眼につくは垣根であり、垣根は表からも裏からも座敷からも見えるからである。垣がいい垣ならそれ

だけ見ておればいい、小さい市井の庭ならなお垣だけ見られるようにしたいと考えている。竜安寺石庭の築地の塀があれらの虎の子渡しの石を抱いているのも、築地の塀が利かなかつたら、石庭の輪郭と緊張が失われるように思える。市井の庭なら生垣にさまざまな四季の花時を見込んで、生垣仕立にすれば垣根だけで結構見られるのである。小さい庭に雑然と木を植え込んだ庭ほど緊張を失った生活を髣髴せしめるものはない、庭は日本の身だしなみであり、あそこにこそ、小さく貧しい庭であっても、日本の肌身がある。庭をつくるということは贅沢ではなく、生きた父とか母とかの歴史が、すぐ茶の間から見えるという、そんな親しさを身近に感じるとすれば、石一つ鳳仙花一本でも、**(カ)** その家の歴史を物語ってくれるものである。 **(E)** (室生犀星「日本の庭」による)

(注) 1 遠州や夢窓国師—有名な茶人、禅僧 2 市井人—市中(普通)の庶民 3 陋居—粗末な家 4 滝田樗蔭氏—ジャーナリスト

問題1 次の文は本文の一部である。文中の**(A)~(E)**から最も適当な挿入場所を一つ選べ。

戦国時代の主将が明日の戦いに思いをひそめるためには、どれだけ庭の静かさが必要だったかわからない。

- 1 **(A)**                      2 **(B)**                      3 **(C)**                      4 **(D)**                      5 **(E)**

問題2 **(ア)** に当てはまる語句として最も適当なものを一つ選べ。

- 1 結局
- 2 なぜならば
- 3 また
- 4 それに反して
- 5 しかし

問題3 下線部**(イ)**「人間として学ぶべきもののすべてを学んだ後でなければならぬ」とあるが、それはなぜか。最も適当なものを一つ選べ。

- 1 庭造りには際限なく長い時間がかかるため、人生の最後に取り組むことが望ましいから。
- 2 庭の良さは、歳を取ってはじめてわかるものだから。
- 3 庭の良さを理解できなければ、庭の作り手に対して失礼になるため。
- 4 庭の鑑賞はその庭の作り手との真剣勝負であり、中途半端な知識では負けてしまうから。
- 5 豊かな教養と鋭い感性を身につけてからでなければ庭を理解することはできないから。

問題4 下線部**(ウ)**「みなそれぞれに見る人の心につながって来る」とあるが、それはなぜか。最も適当なものを一つ選べ。

- 1 夜間は庭の静けさも増し、庭を見る者と庭との一体感が増すため。
- 2 夜の到来とともに、庭が活動を停止し、昼間には見せない姿を見せるため。
- 3 庭の暗さが花や石などに一層の趣を与え、それぞれの魅力が凝縮されて見えるため。
- 4 暗くなることにより、花や石などが、庭を見る人に語りかけてくるため。
- 5 夕暮れ時は1日のうちで庭が最も美しく見える時間帯であるから。

問題5 下線部(エ)「建築家や事業を目ざす人びとが、その仕事を庭を見ながら組立てる」

とあるが、なぜそうするのか。最も適当なものを一つ選べ。

- 1 庭の美しさが、高ぶる気持ちを静め、落ち着かせてくれるから。
- 2 庭に溶け込む様々な知識や知恵が、自分の考えをまとめる手助けになるから。
- 3 庭を理解する能力を身に着けることができれば、他の事業でも成功できるから。
- 4 庭は誰にも邪魔されない空間であり、精神的に集中するのに適した場所であるから。
- 5 庭の持つ空間的な広がり、他の事業でも取り入れることができるから。

問題6 (オ)に当てはまる語句として最も適当なものを一つ選べ。

- 1 しかし
- 2 あるいは
- 3 さらに
- 4 そこで
- 5 何故かといえば

問題7 下線部(カ)「その家の歴史を物語ってくれるものである」とあるが、それはどのようなことであるか。最も適当なものを一つ選べ。

- 1 庭には、いつ、誰が何を配置したかが記憶されていることから、家族の思い出をたどることができる。
- 2 庭の大きさがその家の豊かさや貧しさを表し、家族がどのような生活をしてきたかが表れる。
- 3 庭には造り手の精神が投影されるため、庭を見れば家族のそれまでの生き様をうかがい知ることができる。
- 4 茶の間の前に庭を配置することで両者が一体となり、家族にとって貴重な生活空間となる。
- 5 家族の成長とともに庭の石や花が増えることから、庭の豊かさに家族の豊かさを映し出される。

問題8 本文の内容と合致する記述として最も適当なものを一つ選べ。

- 1 お金をかければかけるほど立派な庭を造ることができる。
- 2 庭を愛する人は、人として学ぶべきもののすべてを学んだ人格者である。
- 3 美しい庭とは、木や石を一切排した垣根だけの庭である。
- 4 精神的に強くない人が、庭の良さを理解するのは難しい。
- 5 庭の造り手が自分の知識や教養をひけらかすように造った庭は美しいとは言えない。

第2問 次の各問いに答えよ。

問題9 下線部の漢字の読み方が正しいものを一つずつ選べ。

- (1) 1 景気が漸次(ざんじ)上昇する。  
2 固唾(かたず)をのんで見守る。  
3 小豆(おまめ)を料理に使う。  
4 頻繁(ひんぴん)に連絡を取り合う。  
5 柔和(じゅうわ)な性格だ。
- (2) 1 このお守りには御利益(ごりえき)がある。  
2 春の息吹(といき)を感じる。  
3 規則を遵守(そんしゅ)する。  
4 図書館で古文書(こもんじょ)を閲覧する。  
5 危険も顧(かいま)みずに出発する。
- (3) 1 彼は柔道部の猛者(もさ)と言われている。  
2 よく効く薬は副作用も強く、諸刃の剣(けん)だ。  
3 あの役者には端役(はしやく)しかこない。  
4 前例を踏襲(ふしゅう)する。  
5 これはどの機種にも使える汎用(ぼんよう)のリモコンだ。
- (4) 1 会社が倒産した事由(じゆ)を明らかにする。  
2 全国行脚(あんぎゃ)の旅に出る。  
3 寄席(よせき)に通う。  
4 取り締まりで捕まったのは雑魚(ざつぎょ)ばかりだ。  
5 彼は経済に疎(くら)い。

問題10 下線部の漢字が正しいものを一つずつ選べ。

- (1) 1 学校の施設を解放する。  
2 能力を充二分に発揮する。  
3 難破船を発見する。  
4 事件の当時者の話聞く。  
5 大器晩生
- (2) 1 精魂を使い果たす。  
2 同じみの歌を歌う。  
3 有終の美を飾る。  
4 金銭の受授があった。  
5 無我無中
- (3) 1 遺憾の意を表明する。  
2 案の上、彼は遅刻した。  
3 裏に捕捉説明が書いてあります。  
4 逐時状況を報告する。  
5 一投両断

問題 11 下線部と同じ漢字を使うものを一つずつ選べ。

(1) 甘いものをケイ遠する。

- 1 雑誌に写真をケイ載する。
- 2 身边をケイ護する。
- 3 あれは彼が設ケイしたビルだ。
- 4 先輩に尊ケイの念を抱く。
- 5 業務を提ケイする。

(2) 基本計画をサク定する。

- 1 その人の発言は、議事録からサク除した。
- 2 借金が増えて金サクに駆けずり回る。
- 3 サク誤による契約は無効である。
- 4 キーワードで検サクする。
- 5 サク為の跡が見られる。

(3) 憲法で保ショウされた権利。

- 1 ショウ害物競走に出る。
- 2 暗ショウ番号を入力する。
- 3 損害を補ショウする。
- 4 互いに愛ショウで呼び合う。
- 5 利益を保ショウする。

問題 12 「貢献」の同意語（最も近い意味の言葉）として正しいものを一つ選べ。

- 1 支持
- 2 補助
- 3 優遇
- 4 贈呈
- 5 寄与

問題 13 「率先」の反意語として正しいものを一つ選べ。

- 1 服従
- 2 敗退
- 3 劣後
- 4 追随
- 5 屈服

問題 14 次の語句の意味として正しいものを一つずつ選べ。

(1) エゴイズム

- 1 自由放任
- 2 利己主義
- 3 強欲
- 4 無軌道
- 5 現実主義

(2) バロメーター

- 1 媒介変数
- 2 調整者
- 3 指標
- 4 創作者
- 5 進行役

問題 15 次の言葉の意味として正しいものを一つずつ選べ。

(1) 鼻を明かす

- 1 心中の不平や不満が解消されて、胸がすっきりする。
- 2 得意になる。
- 3 激しく怒ったり、興奮したりする。
- 4 勝てそうもなかった勝負などに、運よく勝利する。
- 5 相手のことを出し抜いて、あつと言わせる。

(2) 立て板に水

- 1 よどみなく言葉が出てくるようす。
- 2 一生懸命に働くようす。
- 3 思いがけない恐ろしいことに出あって、震え上がるようす。
- 4 差し障りや衝突を避けるために、どっちつかずの曖昧な姿勢で取り組むようす。
- 5 あることに感動して、気持ちが水で清められたような気分になる。

問題 16 下線部の言葉の使い方が正しいものを一つずつ選べ。

- (1) 1 今後一切面倒をみないと印籠を渡す。  
2 季節柄ご自愛下さい。  
3 必死の覚悟で救助に向かう。  
4 彼の的を射た発言に、皆が納得した。  
5 彼女には自分の能力を過信しすぎるところがある。
- (2) 1 次の試験に標準を合わせて勉強を進める。  
2 彼は実に目端が利く男だ。  
3 強いては事を仕損ずる。  
4 せちがない世の中になったものだ。  
5 彼は嵐に遭遇し、海のもずくとなった。

問題 17 「金科玉条」の意味として正しいものを一つ選べ。

- 1 はなはだしく派手でぜいたくなこと。
- 2 大金を一度にもうけること。
- 3 すぐれたものと劣ったものが入りまじっていること。
- 4 千年に一度めぐりあうほどの、またとない機会。
- 5 自分の主義や主張、立場の絶対的なよりどころになる思想や信条などのこと。

問題 18 次の意味を表す四字熟語として正しいものを一つずつ選べ。

- (1) 物事を完成するときに、最後に付け加える肝心な部分のこと。  
1 画竜点睛<sup>てんせい</sup>    2 後生大事    3 一期一会    4 門外不出    5 竜頭蛇尾
- (2) 計略や秘術の限りをつくして戦うさま。  
1 変幻自在    2 面従腹背    3 虚虚実実    4 百戦錬磨    5 羊頭狗肉

問題 19 次の作家と作品との組み合わせとして正しいものを一つ選択せよ。

- 1 志賀直哉 — 潮騒
- 2 太宰治 — 山月記
- 3 島崎藤村 — 草枕
- 4 谷崎潤一郎 — 春琴抄
- 5 大岡昇平 — 山椒魚

以 上